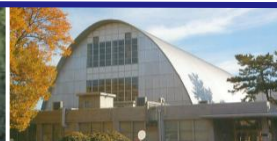


JAEA・高崎量子応用研究所見学会開催 2015.11.5



見学記念撮影/TIARA実験施設玄関前にて

爽やかな好天に恵まれた11月5日(木)、当協議会主催により原子力研究開発機構高崎量子応用研究所(高崎市)の見学会が実施されました。当日はつくば地区と県央地区から総勢21名が参加しました。県央地区参加メンバーは工業技術センター産業指導所(笠間市)に集合し、現地には正午に到着しました。幸い高崎研究所のご好意で同所の食堂を利用して戴け、見学会は午後1時から開始しました。

最初に、サイエンスプラザ 2Fにて同所総務課打越課長から高崎研究所の概要と同研究所のミッションの説明を受けました。120名の職員の外来研究者など総勢200数十名の陣容が、量子ビームを活用しつつ、JAEAでは最も暮らしに役立つ分野の研究に取り組まれている現状を知り一層身近に感じました。

続いて、同プラザ1Fの展示エリアに移動し、研究者からパネルや現品展示により、具体的な研究成果とその技術移転の説明を受け、積極的に産学連携に取り組まれる同研究所のスタンスを理解しました。特にガンマ線の照射による架橋技術から生まれたゲルフィルムや、イオンビーム照射で突然変異を誘発した植物等の新種開発や発芽抑制は印象的でした。



サイエンスプラザにて
(説明：笠井氏)

な説明を受けました。特にコバルト60の崩壊で生じた高いエネルギーの電子が水中で発光するチェレンコフ光を見ることが出来たのは、非日



コバルト照射施設で
(説明：細野氏)



チェレンコフ光

常の格別な体験となりました。引き続き、電子線照射施設を見学し、ここでは特別に製作された遮蔽用の鉛ガラスを通して電子加速器から出る均一な電子線を試料に照射する照射室を見学しました。

最後に高崎研究所の目玉施設のイオン照射研究施設(TIARA)を見学しました。TIARAはAVFサイクロトロン、3MVタンデム加速器の他400kVイオン注入装置4台を用いて材料科学やバイオ技術等に最適なイオンビームを提供可能であり、ここでも担当の研究者に同行戴きイオンビーム注入装置やその加速器群に接近して肌で機器とその機能とを感じ取ることができました。



電子線照射室

一連の見学後、黄昏間近のTIARA玄関前で全員が揃って見学記念のスナップ撮影をした後、新たな技術に脈々と進展し続ける量子科学の将来に向けた大きな期待を抱きつつ帰途につきました。



TIARAの照射実験室
(説明：石堀氏)

***** J-PARC NEWS 発行 *****

J-PARC NEWS 第126号が発行されました。

<http://j-parc.jp/ja/news/news-j.html>